



2 エッセイ／“おかね”を語る  
**儉約家の教え** 明治大学文学部教授 齋藤 孝

4 インタビュー／扉を開く  
**表現したいものは自分の中にある** 現代美術家 杉本博司



9 地域の底力 — 山形  
**地場産業の伝統技術を集積した匠の集団・「山形工房」を訪ねて**  
 山形県山形市・天童市



16 特別インタビュー  
**白川総裁に聞く** 日本銀行総裁 白川方明

20 教えて！にちぎん  
**金融市場調節って何のこと？**



24 貨幣の歴史学  
**さまざまな藩札** —江戸期藩札の流通実態  
 松山大学経済学部教授 岩橋 勝

28 **新連載** 日本銀行のレポートから  
**「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2008年10月—**  
**【基本的見解】**

34 トピックス



35 AIR MAIL from FRANKFURT  
**ユーロ圏における小口決済サービス統合の動き**

## 表紙のことば

日本銀行松山支店は、日本銀行の一七番目の支店として、昭和七年(一九三二)年に開設された。開設当時の店舗は、辰野金吾博士の高弟・長野宇平治の設計によるルネサンス様式風の建物。三番町の一角に位置する建物の背景には、松山市のシンボル、松山城の雄大な天守閣がそびえ、松山の代表的な景観として、シヤッターを切り、絵筆をふるう人も多かったという。

戦時中は、防空対策として、白亜の建物全体に伊予緋の廃液を流しかけ藍色の迷彩を施し、空襲時には職員による命懸けの消火活動で、幸いにも延焼は免れ、焼け出された金融機関に仮の営業場所を提供した。

そんな歴史を刻む建物も、老朽化が進み、昭和五十五(一九八〇)年、店舗の改築が決定。保存運動が展開されるなど保存を望む声が強く、閉館前の一般公開時には二九〇〇名もの見学者が訪れ、名残を惜しんだという。現在の店舗は、昭和五十九(一九八四)年に改築・完成した。

